

新潟県の新たな津波浸水想定公表について

1 概要 津波防災地域づくり法に基づく新たな津波浸水想定に係る図面を、新潟県が公表した。

2 経緯

平成25年12月 県 独自の最大クラスの津波浸水想定を公表
 平成26年 4月 市 上記に基づきハザードマップ作成・HP掲載
 平成26年 8月 国 日本海側最大クラスの津波断層モデルを公表
 ↓～この間、県想定が遅れについて、NHKでも報道あり～
 平成29年11月 県 上記を踏まえて、今回新たに津波浸水想定を公表

3 前回想定との比較

	H29想定	H25想定
(1) 津波断層モデル	国想定7断層+H25県想定2断層	県想定6断層+参考2断層
(2) 最高津波水位 (沿岸代表地点)	11.0m 寄居浜(中央区)	7.3m 寄居浜(中央区)
(3) 堤防	地震直後に75%沈下 →津波越流時点で全て破壊	堤防なし(全て破壊)
(4) 浸水面積	10,736ha (1cm以上を表記)	10,971ha (20cm以上を表記)

4 今後の予定

平成29年12月議会で、新たな津波浸水想定に基づく市津波ハザードマップデータ作成にかかる補正予算を提案見込み。